

令和5年度ブラッシュアップ事業 授業改善研修会（小学校・音楽）

授業力ブラッシュアップ研修会は、学習指導要領の趣旨や内容等に基づいた指導改善を図るため、モデル授業の提案を中心とした授業改善研修会を通して、教員の一層の授業改善・充実の促進に資することを目的に行われています。今号は、11月28日に奥州市立水沢小学校で行われた小学校音楽の研修会について紹介します。

～部会テーマ～

音楽づくり分野における「思考力、判断力、表現力等」の育成に係る「指導と評価の一体化」の具体

～授業の視点～

- (1) 指導事項と共通事項の「明確化」、「焦点化」、「具体化」
- (2) 思いや意図をもたせるための学習過程の工夫
- (3) 学びを深める ICT 活用

～ブラッシュアップメンバー～

授業者	奥州市立水沢小学校 岩 淵 真規子 教諭
支援員	奥州市立常盤小学校 佐 藤 清 香 教諭
支援員	奥州市立衣川小学校 高 橋 瑞 稀 教諭

- ◆最初に、本時の目標を明確にすることで、児童はゴールに向かって学習することができ、教師も、ゴールに向けてしっかりと支援を講じて授業を進めることができていた。
- ◆国語の俳句作りと関連を図りながら学習を進めていくことで、音楽づくりの思いや意図をもたせることにつながっていた。さらに、「テーマ」を設定することで、既習の音楽の授業と本時がつながり、見通しをもって活動することができた。
- ◆デジタルコンテンツを使うことで、音楽に苦手意識のある児童も意欲的に取組み、楽しそうに活動していた。



授業の様子から

- ◆授業の視点である「思いや意図をもたせるための工夫」が効果的で、子ども達の音楽づくりにつながっていた。（既習の知識、他教科との関連）
- ◆音楽の曲作りにICT機器は適している。教科書会社で出しているデジタルコンテンツを活用することで、すぐに、誰にでもICTを活用した授業改善に繋がれること。
- ◆ペアやグループで活動している場合の個々の見取り方が難しいという話題が挙がった。



研究協議で話題になったこと

講義・演習から学んだこと

「令和の小学校音楽教育をクリエイトする」

県南教育事務所 菊池 和裕 主任指導主事

- ◆「不易」…「評価」の方法を再確認した。どこを授業で取り上げるのか「明確化」、指導したい内容を絞る「焦点化」、学習の課題を教師と児童の間で「具体化」して授業づくりを進めていくことで、指導と評価の一体化につながる。
- ◆学びに向かう力・人間性等をどのように見取るか演習を通じて学ぶ事ができた。
- ◆「流行」…音楽とICT機器の相性は良い。アプリではなく、クラウド上のWebアプリの活用が便利である。AIの活用、文具的活用等、積極的な活用を推進すること。様々なコンテンツが紹介され、研修者も実際に演習で端末の操作をとおして学びが深まった。



授業改善に向けて

<参加者の声（一部抜粋）>

- ・子ども達と目指す姿を共有し、どのような指導をしたら目指す姿になるかを考えて授業を組み立てたい。
- ・ICTを有効に活用した授業場面を見せていただくことができたので、自分の授業でもどんどん使っていきたいと思いました。
- ・教科を横断的に指導したり、題材内で軽重をつけたりしながら柔軟に意図をもって授業づくりを行っていきたいです。

